



昭和一四年（一九三九）は大干ばつに見舞われました。

高松市川島地区では、四箇池の潤す田以外では田植えのできなかった田もありました。また、田植えのできた田地も、八月中旬ごろから溜池の水が底をつき、稲田は真つ白になり、地面は亀の甲のように割れてきました。見るに見かねた農家の人は、出水や四箇池の水路から夜を徹して水を汲み上げ、出穂前の稲を助けるようと懸命の努力をしました。ポンプ用のガソリンも不足し、共同で円座・仏生山・平井まで買いに歩きましたが、その労も実らず、高台では四分の一の収穫しか得られませんでした。

七月二三日には、香川県の藤岡長敏知事が、自ら祭主となって滝宮天満宮で雨乞い祈願をし、八月一日より三日間、城山神社でも降雨祈願をしました。また、県は各市町村に対し、雨乞いをするよう通達を出しました。由良山・土佐山でも三度ほど雨乞いの火を上げました。九月には、学童が日の出と日没前に土びんで稲に水をかけるよう、各学校へ通達を出したほどです。

この年の米の収穫量は、県で平年一三万七、八〇〇トンのところ、五四パーセントの七万四、六〇〇トンしかありませんでした。農家では、供出米が納められず、保有米もなく、苦しい生活を余儀なくされました。県では一〇月、白米食の廃止、七分づき米の常用・雑穀との混食・粉食励行、麦食奨励の条例を制定したほどで、米価は急激に高騰しました。

背景

昭和13年（1938）10月から14年9月までの1年間の雨量は、675.7mm（多度津測候所）で、例年の約半分に過ぎませんでした。高松市川島地区では6月14日未明に少し降ってからは空梅雨の状態、9月11日まで雨らしい雨がありませんでした。このため、県知事が雨乞い祈願をするとともに、県は学童に対して「土びん」で朝と晩に稲の根元に水をかけるよう学校に通達を出したほどでした。

アクセス 滝宮神社

- 琴電琴平線滝宮駅より西へ直線距離約300m
- 綾川町滝宮
- 緯度経度 北緯34度14分59秒，東経133度55分09秒

